



海と共々

発行 宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



●石巻市北上町：大室漁港

主な内容

- 平成21年 年頭挨拶
- 合併仮契約調印式
- 共販情報
- 主な一般経過
- 第13回経営管理委員会開催
- 第14回経営管理委員会開催
- 第15回経営管理委員会開催
- 第25回《みやぎの海の子》作文入賞者表彰式
- 漁船海難遺児育英運動



平成21年 年頭挨拶

宮城県漁業協同組合
経営管理委員会

会長 木村 稔

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、漁協系統の皆様にご挨拶を申し上げます。

多くの課題を抱えながらも初年度黒字決算となり、まずまずのスタートを切った新生宮城県漁業協同組合ですが、昨年の内外経済情勢は、米国発のサブプライムローンに端を発した百年に一度と言われている世界全体を巻き込んだ金融危機や、原油価格の急激な変動等の要因により、急速に落ち込み、世界同時不況の様相を呈しており、水産業界にも不況の波が徐々に浸透し、消費の鈍化による価格の低迷等の影響により、本組合も厳しい経営環境にあります。

特に漁業の存続を脅かす漁業用燃油の異常高騰については、JFみやぎとして国・県に対し陳情を行うと共に、全国漁協系統におきましても、わが国漁業の歴史において史上初めてとなる、全国20万隻の漁船が一斉休漁に踏み切り「漁業経営危機突破！全国漁民大会」を開催し、水産業界が一体となり、政府に対し浜の窮状を訴え緊急対策を強く求め、政府より大型補正予算が追加措置されました。

一方、金融の方に目を向けると、民間金融機関に於いても不況を乗り切るべく対策として、店舗合理化等の動きもあり浜での利便性が無くなりつつあります。

このような中で、発足2年目を向かえた本組合としましては、「浜の暮らしを守る」との意義を再確認しながら、漁業と地域の暮らしをサポートする安心、便利な金融機関を目指し、地域と貯金者の信頼を基礎に、環境変化に対応した最適な浜の金融機関へと努力してまいります。

さらに、組合員の経営の安定と漁村の活性化に努め、健全で信頼されるJF経営の実現をはかり、組合員へのサービス向上を目指してまいります。

また、合併当初参加していない漁協に参加を呼び掛け、組合員が安心して暮らせる活力ある豊かな漁村実現のために全力を尽くしてまいりますので、どうか、今後とも皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、益々のご繁栄とご健勝、そして海上安全とこの一年が豊かな年となりますよう豊漁をご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

合併仮契約調印式

去る1月22日、宮城県漁協は宮城県庁において雄勝町雄勝湾漁協並びに矢本漁協と、4月1日合併に向けた合併仮契約書の調印をおこないました。

調印式には、宮城県漁協の木村経営管理委員会長、斎藤副会長、阿部理事長等が、また、雄勝町雄勝湾漁協の伊藤組合長、矢本漁協の相澤組合長、伊藤克彦副知事等が出席しました。

この中で、伊藤副知事は「今日に至るまで、漁協系統の全ての皆様が、一県一漁協体制を構築するために大変な努力を重ねてきた。2年間に亘り協議を重ねてきた結果、今日の合併仮契約調印の運びとなった。この度の英断に心から敬意を表する。今後、各漁協が合併に向けて取り組みをすることになるが、是非、合併決議が得られるように、お願いしたい。来年度からは、宮城県漁協を皆様が理想とされる、日本一の組合を目指して共に知恵を出して頑張ってください。」と挨拶を述べました。

又、宮城県漁協の木村会長は「この合併仮調印に至るまでには様々な難しい局面があったが、宮城県の熱心なお力添えがなければ、今日を迎えることができなかつた。今後、臨時総会の特別決議など、きたる4月1日の合併に向け、超えなければならぬハードルはあるが、一層のご指導、ご協力をお願い申し上げたい。合併は目的ではなく、将来に向かって漁業者が生き残っていくための手段に過ぎない。本日を契機に、皆様と手をたずさえて、協同組合の真の目的実現に向け、一層邁進していくことをお誓い申し上げます。」と挨拶しました。

これまで合併未参加4漁協とは、5回の連携会議等で協議を重ねてまいりました。しかし、残念ながら9月末の総会決議の目標期限迄に、決議が得られませんでした。このことから再度、昨年11月に平成21年4月1日を合併目標とする条件提示をおこない、12月末まで理事会



合併仮契約調印式

決議をおこなうように協議を進めてきました。その結果、両漁協は12月末までに4月1日を目標とする理事会決議をおこない、この日の調印となりました。

今後の合併決議の総会等のスケジュールについては、宮城県漁協は2月2日、3日、4日の地区別ブロック会議を経て、2月6日の経営管理委員会で、又、雄勝町雄勝湾漁協は、2月12日、矢本漁協は2月10日の臨時総会で、それぞれ決議する予定です。

なお、塩釜市漁協、牡鹿漁協につきましては、合併の合意形成が得られず、参加を見合わせております。

共 販 情 報

海苔の秋芽生産は、高水温や栄養塩の低下、赤グサレ病などの影響で生産が伸び悩み、11月に行われた入札会では3千万を超える海苔を上場できましたが、12月に行われた入札会では2千万枚を下回る入札会もあり、低調な海苔生産となりました。

その結果、年内の共販状況は枚数で1億3千3百万枚の生産となり、史上最高の秋芽生産となった前年を1億枚下回り、金額においても11億9千万円で前年より7億円の減少となりました。

この様な状況の中、本格的生産に入った冷凍海苔網での生産に大いに期待をしていたところであります。

1月9日に実施された本年初めての入札会には、冷凍初摘みがかかなり出品され、全体に色のあるものもみられました。冷優、冷優Aクラスは10円以上の札値になったものの、優Bクラスからの札値は伸びませんでした。しかし、平均単価は9円86銭で、前年同期回の7円63銭を2円以上上回りました。これからの冷凍海苔網での生産と入札会での価格安定に期待するものであります。

鮮かきの12月末までの取扱いは卵持ちかきが多く見られたことで、かき剥き開始日が例年に比べ2週間ほど遅れたことや、急激な景気の後退による消費マインドの冷え込みにより、消費動向が大きく様変わりしたことで量販店・小売など末端での動きが鈍りました。

そのことが産地共販での価格形成に悪影響を及ぼし、価格の低迷を招きました。12月末までの取扱実績は数量(全県)2,311トンで昨年より55トン下回り、金額においても26億3千6百万で前年より3億3千万円の減少となりました。

また、正月明けの1月5日以降の入札会での平均価格は、1万円を割り込み1月8日以降には5千

円台の平均価格となり、生産者にとって厳しい状況となっております。一日も早い価格の回復が望まれるところであります。

今漁期の鮑の価格は中国経済成長の減速により干鮑の需要落ち込みと、円高による韓国産輸入鮑の増大等の影響を受け、県内共販価格(平均)は11月期で昨年の価格の66%4,549円、12月期では昨年の75%の4,379円となり、昨年の価格を下回りました。

水揚状況については、今年は11月、12月共に時化の日が多く、特に12月は時化の日が続き開口が出来ず、12月の水揚として過去最低の9,786kgの水揚実績となりました。

このことから、12月入札分(12/8~1/15漁期)については漁期途中に買受人との協議を行い1月31日まで漁期を延長し漁獲高の増高に努めました。11月、12月の水揚数量・金額は次の通りとなり、厳しい取扱実績となっております。

11月	数量66,003kg(89,935kg)	73,44%
	金額300,263千円(615,095千円)	48,8%
12月	数量9,786kg(45,711kg)	46.7%
	金額42,854千円(265,180千円)	16,1%
合計	数量75,792kg(135,646kg)	55,13%
	金額343,118千円(880,275千円)	38.97%

ほたて共販は、価格は低迷しているものの生育が順調だったことから、生産量は12月末現在の共販実績数量は、10,353トンとなり前年同期実績8,600トンを1,700トン上回る実績となっており、水揚金額においても30億円を超える共販金額になることを期待しております。

わかめ共販は、平成20年12月12日(金)第三回わかめ・こんぶ部会において2009年度漁期対策等について協議され、初入札会については2月5日(木)開催となり、最終入札会は4月29日(水)と決定いたしました。

また、ダンボール箱デザインの一部改正についても協議され、改正点について承認されました。これを受け、各総合支所毎に部会を開催し、部会委員の了承を得たところであります。

今漁期の生育状況は概ね順調に推移しておりますので、初入札会での上場数量に期待を寄せるところであります。価格形成は、2008年のような高値は望めないものと思われまます。買受人の中には2008年の高値在庫を抱えている業者もあり、また、現在の景気後退の影響等が重なり各買受人の買付が慎重になるものと予想されまます。

平成20年度 乾海苔取扱実績

平成21年1月23日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数量(枚)	224,531,800	318,482,300	71
金額(円)	2,073,415,797	2,515,742,363	82
平均単価(100枚)	923	790	117

平成20年度 鮮かき取扱実績

平成21年1月24日現在

	気仙沼総合支所			石巻総合支所		
	数量(kg)	金額(円)	平均単価	数量(kg)	金額(円)	平均単価
累計	670,972	797,905,589	11,892	1,847,908	2,002,160,120	10,835
前年同期	654,679	800,811,946	12,232	2,089,794	2,433,525,960	11,645
前年対比	102%	100%	97%	88%	82%	93%

	塩釜総合支所			合計		
	数量(kg)	金額(円)	平均単価	数量(kg)	金額(円)	平均単価
累計	380,760	456,686,650	11,994	2,899,640	3,256,752,359	11,232
前年同期	421,790	489,828,900	11,613	3,166,263	3,724,166,806	11,762
前年対比	90%	93%	103%	92%	87%	95%

※平均単価は10kg

主な一般経過

- 11/26 組合員資格審査に係る第2回打合せ
第3回磯根資源部会並びに
買受人との意見交換会
表浜支所かき生産者との協議
- 27 女性部連絡協議会 第3回役員会
〃 海の子作文選考委員会
- 28 第2回乾のり入札会(合同)
- 12/ 1 共済推進(桃浦)
2 第1回みやぎ水産物強化事業検討委員会
3 協業化事業漁業者グループ研修会
共済推進(表浜・歌津)
4 共済推進(唐桑・石巻市東部)
5 第3回乾のり入札会(A-1)
共済システム検討会
共済推進(泊浜)
6 仙台湾小型漁船漁業部会
代表漁業者資源管理検討会
7 第2回あわび入札会(北部・中部)
8 協業化事業・漁業者グループ研修会
9 宮城県 第4回かき定期情報交換会
10 宮戸西部支所「のり共同加工処理施設」
施設披露・竣工式
第8回本所かき部会
共済推進(志津川・網地島・鳴瀬・松岩)
11 購買担当者会議
第1回仙台湾小型漁船漁業部会並びに
福島県固定式さし網漁業の入漁に係る
入漁協定会議
共済推進(宮戸西部)
12 第4回乾のり入札会(B-1)
第3回本所わかめ・こんぶ部会
13 たら刺網漁業委員会代表者と中部小
底代表者によるたら操業に係る懇談会
14 親子かき養殖体験ツアー
15 経営管理委員会部門別
(指導・経済事業部門)委員会
共済推進(大島・十三浜)
16 第2回経理担当者会議
気仙沼総合支所 資源管理型漁業実
践協議会並びに漁業代表者合同会議
17 宮城県小型漁船漁業部会
第1回たら刺網漁業委員会
(拡大委員会)
- 共済推進(宮戸・気仙沼地区)
18 第10回理事会
ブロック別購買担当者会議(南部地区)
共済推進
(気仙沼地区・荻浜・石巻湾)
19 第5回乾のり入札会(A-2)
第5回支所長会議
ブロック別購買担当者会議(北部地区)
共済推進(唐桑)
20 仙台湾小型漁船漁業部会
宮城・福島実務者会議
第6回総合支所合同のり部会
24 第4回省燃油操業検討協議会
25 第14回経営管理委員会
第7回監事会
ブロック別購買担当者会議(中部地区)
用船事業実施に係る漁業者説明会
26 第6回乾のり入札会(合同)
省エネ推進協業体活動支援事業
(輪番休業制)の取組内容確認
29 志津川支所・南三陸町
第18回志津川おすばで祭り
30 仕事納め
1/ 5 仕事始め
かき新年初売り
6 南部地区魚市場活性化
プロジェクト第5回会議
9 第7回乾のり入札会(合同)
第9回本所緊急かき部会
14 第2回コンプライアンス推進委員会
余裕金運用会議
宮城県小型漁船漁業部会
すくい・船びき網漁業合同委員会
15 北上町十三浜支所 総会の部会
16 第8回乾のり入札会(B-2)
第3回監事監査(子法人:女川魚市場)
19 緊急カキ総合支所担当者会議
20 第11回理事会
第15回経営管理委員会
第3回中部地区購買事業担当者会議
21 第2回組合員資格審査委員会
22 合併仮契約書調印式
23 第9回乾のり入札会(A-3)
第3回監事監査
(子法人:宮城県水産会館)
27 第16回経営管理委員会

第13回経営管理委員会開催

宮城県漁協は11月25日、本所に於いて平成20年度第13回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の11件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 組合員資格審査における資格の変更
3. 監事監査細則の制定
4. 第2回監事監査結果報告
5. 第2回内部監査結果報告
6. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
7. 融資状況
8. 平成20年度宮城県強い水産業づくり交付金事業
9. 共済システムの構築
10. JF宮城寄磯省エネ取組グループへの補助金立替
11. 業務手数料等支出要領の一部変更

続いて議事に移り、次の5議案が提案説明されました。

第1号議案

融資決定に関する件

第2号議案

貸付業務規程の一部変更に関する件

第3号議案

共同販売取扱要領の一部変更に関する件

第4号議案

1,000万円以上の資産の取得に関する件

第5号議案

総会の部会招集に関する

第1号議案は、定款に基づき、貸出案件調書(大口貸出先：3億円以上)のとおり貸付することの承認を求めました。第2号議案は、固定化債権の流動化及び回収整理を図るため、貸付業務規程の一部変更することの承認を求めました。第3号議案は、販売代金の精算日統一を図るため、共同販売取扱要領(乾海苔、鮮かき、ホタテ貝、鮑・ウニ、魚貝藻類)の一部変更することの承認を求めました。第4号議案は、規程に基づき資産を取得することの承認を求めました。第5号議案は、北上(大指)漁港区域内公有水面埋立工事に係る共同漁業権の一部変更に伴い、総会の部会(共第112号第1種共同漁業権：北上町十三浜支所)を開催することの

承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第14回経営管理委員会開催

宮城県漁協は12月25日、本所に於いて平成20年度第14回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の5件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
3. 融資状況
4. 共済事業実績報告
5. JFマリンバンク宮城県本部設置に係る要領の廃止

続いて議事に移り、次の3議案が提案説明されました。

第1号議案

鳴瀬支所組合員資格審査委員会委員の変更に関する件

第2号議案

総会の部会招集(変更)に関する件

第3号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、鳴瀬支所組合員資格審査委員会委員の辞任に伴う補欠の委員について、推薦があったので、委嘱することの承認を求めました。第2号議案は、第13回経営管理委員会にて承認された、総会の部会(北上町十三浜支所)を、日程を変更して開催することの承認を求めました。第3号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

引き続き次の事項が協議されました。

(イ) 4JFの対応等について

合併参加の目標期限(平成20年12月末)が間近に迫り、4漁協と連日に亘り協議を重ねてきました。その結果、矢本漁協並びに雄勝町雄勝湾漁協が4月1日を目標とする合併に取り組むことが両漁協の理事会で決定されたことが報告されました。そのため合併に参加する組合とは、これから合併に向けて本格的に事務手続きを行っていくことが確認されました。

第15回経営管理委員会開催

宮城県漁協は1月20日、本所に於いて平成20年度第15回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに議事として次の2議案が提案説明されました。

第1号議案

合併仮契約書に関する件

第2号議案

平成20年度第2回地区別ブロック会議開催に関する件

第1号議案は、合併仮契約調印式(H21,1,22)に提出する合併仮契約書の承認を求めました。第2号議案は、平成20年度第2回地区別ブロック会議を開催することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第25回《みやぎの海の子》作文入賞者表彰式

JFみやぎ女性部連絡協議会(畠山悦子会長：気仙沼地区支所女性部)主催による《みやぎの海の子》作文入賞者表彰式が、去る1月6日石巻市の石巻グランドホテルで開催されました。

開会にあたり畠山会長は、「漁業に従事するお父さん・お母さん達への思いやりが作文の中から強く感じられました。これからも漁業のお手伝い等を通じ家族に元気を与え続けていただきたい。」と挨拶いたしました。

引き続き選考経過報告があり、作文選考委員会の委員長であるJFみやぎ船渡専務理事より、「第1部(小学校低学年)22作品、第2部(小学校高学年)49作品、第3部(中学校)85作品、合計156の作品が寄せられ、厳正なる審査の結果、各賞併せて21作品が選考された。素晴らしい作文を書ける背景には家族の愛情があってこそ、感謝を忘れずこれからも漁業に対する関心を持ち続けてほしい。」と総評を述べられました。

その後、各賞を受賞された小・中学生に対し、各団体の代表者より賞状と記念品を手渡し、その栄誉を称えました。

続いて、来賓を代表しJFみやぎ木村経営管理委員会会長は「毎日懸命に働く家族の姿を見つめ、生き生きと学校生活に取り組んでいる子供達の様子が浮かんできました。将来、自分も漁業を志すという決意にもにた熱い思いも伝わってきました。これから誕生するであろう新しい仲間のためにも、漁業を魅力ある産業にしていきたい。」と祝辞を述べられました。

最後に、江刺副会長(石巻地区女性部)が「来年も素晴らしい作品の応募を期待しています。美味しい昼食を用意したので一杯食べて新学期にそなえてもらいたい。」と閉会挨拶し、入賞者表彰式の一切を終了いたしました。

尚、次年度においても第26回の作文募集を行う予定としておりますので、小・中学生からの作文応募について、組合員みなさまのご協力をお願いいたします。



第1部入賞者



第2部入賞者



第3部入賞者

第25回「みやぎの海の子」作文入賞者

部	賞	題 名	氏 名	学 校 名	学年
第一部	宮城県知事賞	おとうさんのしごと	堀内 健士朗	気仙沼市立唐桑小学校	1年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	お父さんに負けないようしになる	星 大 輝	南三陸町立戸倉小学校	3年
	宮城県漁業共済組合長賞	七色にかがやく海をまもりたい	小山 七 海	南三陸町立戸倉小学校	3年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	家の仕事	阿部 寿 々	石巻市立東浜小学校	3年
	宮城県漁船保険組合長賞	お父さんのうで	小野寺 愛 紘	気仙沼市立大島小学校	2年
	宮城県漁信基理事長賞	おさかな大すき	小山 明日香	南三陸町立戸倉小学校	2年
	宮城県漁協女性連会長賞	いえのしごと	梶原 一 真	気仙沼市立唐桑小学校	2年
第二部	宮城県知事賞	今が旬のホヤ	遠藤 なつみ	石巻市立寄磯小学校	6年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	頼りにされたうにのかいこう	小野寺 貴 也	南三陸町立戸倉小学校	6年
	宮城県漁業共済組合長賞	救命具 着けて出港 大漁だ	遠藤 葵	石巻市立寄磯小学校	5年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	家族みんなで開口作業	男 帛 翔 平	気仙沼市立中井小学校	6年
	宮城県漁船保険組合長賞	お父さんへの手紙	阿部 み か	石巻市立大原小学校	6年
	宮城県漁信基理事長賞	お父さんありがとう	佐藤 千 秋	石巻市立開北小学校	4年
	宮城県漁協女性連会長賞	「みやぎの海の子」	三浦 美 咲	南三陸町立名足小学校	4年
第三部	宮城県知事賞	『海は生きている』	佐藤 菜 々	石巻市立渡波中学校	2年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	海の仕事の大変さ	阿部 亜衣加	石巻市立北上中学校	1年
	宮城県漁業共済組合長賞	目標の漁師、父の姿	木村 友 哉	石巻市立大原中学校	1年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	新鮮な海の幸を守るために	村松 志 穂	南三陸町立戸倉中学校	1年
	宮城県漁船保険組合長賞	「海難事故防止」	佐藤 里 奈	南三陸町立戸倉中学校	2年
	宮城県漁信基理事長賞	わが家の仕事	平塚 勇 樹	石巻市立荻浜中学校	3年
	宮城県漁協女性連会長賞	私の父	千葉 真由子	気仙沼市立唐桑中学校	3年

漁船海難遺児育英運動 【募金・寄付金】のお礼

漁船海難遺児育英会は、漁業従事中に不幸にも海難等の事故で死亡・行方不明になられた方々の子供たちが、将来社会に役立つ人材に成長してくれることを願い、学資の給与、奨学金の貸与等の育英事業を通じて励ますことを目的としている財団法人であります。

本県における漁船海難遺児育英運動は 毎年募金活動を実施し、宮城県漁協、系統団体、業種別・加工組合、漁協女性部、漁青連などから心温まる募金を頂いております。又、他団体におきましては、石巻アカデミー主催(会主:武田つと殿)による海難遺児チャリティー歌謡ショーが毎年開催され、その収益金の中から寄付金を頂いております。

又、平成21年1月23日(金)には、株式会社 仙台水産 島貫代表取締役会長より漁船海難遺児育英事業に10万円の寄付金を頂く等、各方面の善意に支えられながら幅広く推進しております。

この度、皆様方から寄せられました募金・寄付金は、育英事業のために活用させていただきます。

ご寄付を頂きました方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

尚、宮城県漁協女性部連絡協議会からは漁船海難遺児事業に対し、毎年、年度末に約100万円の寄付金を頂いております。

記

平成20年度の募金額 523,016円
(平成21年1月26日現在)

ご芳名(敬称略)

- 系統団体 383,976円
- 株式会社 仙台水産 100,000円
- 武田 つと殿 35,000円
- 東北ドック鉄工 株式会社 4,040円



仙台水産島貫会長より
寄付金を受ける阿部理事長